

第45回

# 全国学童保育研究集会

2010年10月30日(土) 全体会 幕張メッセ イベントホール(千葉市)

10月31日(日) 分科会 千葉大学 西千葉キャンパス(千葉市)



**主催** 全国学童保育連絡協議会・千葉県学童保育連絡協議会

**後援** 千葉県・千葉県教育委員会・千葉市・千葉市教育委員会ほか



全国学童保育連絡協議会／編集・発行

日本の  
**学童ひろく**

働きながらの子育てと、学童保育  
の実践と運動に役立つ記事が満載

月刊／定価330円

# 千葉県学童保育連絡協議会へ参加申し込み書 第45回全国学童保育研究集会

申し込み者氏名 (ふりがな)	連絡先電話番号 ( ) - ( )	F A X 番号 ( ) - ( )
<b>【参加証送付先】</b> 送付先に○をつけてください ( 自宅 学童保育 勤務先 その他 ) 〒□□□□-□□□□□		
* 自宅以外の場合は、学童保育名・団体名・会社名、様方等を必ず記入してください		
送付方法は次のいずれかに○をつけてください (一括送付 個別送付)		
集会参加回数 ( )回目	立場 ○印	保護者(OB含む) 議員 児童委員
		指導員 学校関係者
		児童館職員 学生 その他 ( )
自治体担当職員 ( )		
所属学童保育の所在地 都道府県 ( ) 市区町村 ( )		
参加費 3500円	弁当代	800円×__個=_____円
合計 ( ) 円を添えて申し込みます。		
保育の申し込み：利用日、子どもの年齢、名前、ふりがな、人数、必要事項(アレルギー等)をお書きください		
30日 歳 か月 ( 年生)	名前・ふりがな	必要事項
-----		
31日 歳 か月 ( 年生)	名前・ふりがな	必要事項

き り と り

# トップツアー(株)市川支店へ 宿泊申し込み書 第45回全国学童保育研究集会

\* 必ず、お手元にコピー(控え)を残してください

申込者(ふりがな) * (代表者名)	宿泊合計人数
TEL 自宅 ( ) - ( ) 職場 ( ) - ( )	F A X 自宅 ( ) - ( ) 職場 ( ) - ( )
連絡先住所 (予約確認書送付先)	〒□□□□-□□□□□
勤務先 (いづれかに○をつけてください) 自宅	

当社整理番号	* フリガナ 宿泊者氏名	年齢	性別	10/30	ランク	地区希望 (ホテルリスト参照)	部屋タイプ
				第1希望		幕張地区	ツイン
				第2希望		千葉駅方面地区	シングル
				第3希望		どちらでも	
* (備考欄)				例	D	幕張地区	シングル

- ※ご希望通りにお取りできない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- ※まとめて申し込み場合は、代表者を決め、各宿泊者ごとに申し込み書を記入のうえ、同時にお申し込みください。  
(一覧表を作って送っていただいても結構です)。予約確認書は、代表者へ一括してご郵送します。  
(ただし、あくまでも先着順の受付となりますので、分宿となる場合があります。予めご了承ください)。
- ※ホテルの名簿登録は、カタカナでの登録になりますので、フリガナも忘れずご記入ください。
- ※前泊・後泊等のご希望の方は、備考欄に詳しくご記入ください。
- ※ベッド・朝食が不要な幼児を同伴する場合は、備考欄にその旨ご記入ください。

【旅行手配の為に必要範囲内での宿泊機関への個人情報提供について同意の上、本旅行に申し込みます。】

# 全体会

10月30日(土) 13:00~16:30 幕張メッセイベントホール

12:00 受付開始 13:00~13:30 歓迎行事 13:30~13:50 開会行事  
13:50~14:20 基調報告 全国学童保育連絡協議会  
14:20~14:50 特別報告 \*保護者から \*指導員から  
15:00~16:30 記念講演

## 子どもの育ちと親の暮らしを支える学童保育の仕事 —子ども理解を深めあう新しい共同へ

田中孝彦 (武庫川女子大学教育研究所教授)



### 〈プロフィール〉

1945年北京に生まれる。東京大学、東京経済大学、北海道大学、都留文科大  
学を経て、現在、武庫川女子大学教育研究所教授。専攻は教育思想、臨  
床教育学。教育科学研究会委員長。主な著書に、『子どもの発達と人間像』  
『子どもらしさのこれまでとこれから』『人が育つということ』『生き方を  
問う子どもたち』『保育の思想』『臨床教育学序説』『教師の子ども理解と  
臨床教育学』『フィンランドの高校生たちが人生について考えていること』  
『子どもたちの声と教育改革』ほか多数。最新刊は『子ども理解～臨床教  
育学の試み～』(2009年12月刊)。

16:30 閉会  
18:30~20:30 交流会 (千葉大学生協食堂)

# 分科会

10月31日(日) 9:30~16:00 千葉大学 西千葉キャンパス

8:30 受付開始 9:30~16:00 分科会

### ●全体会会場への交通●

J R 京葉線「海浜幕張駅」下車、徒歩5分

\* 東京駅からの乗車時間は約30分

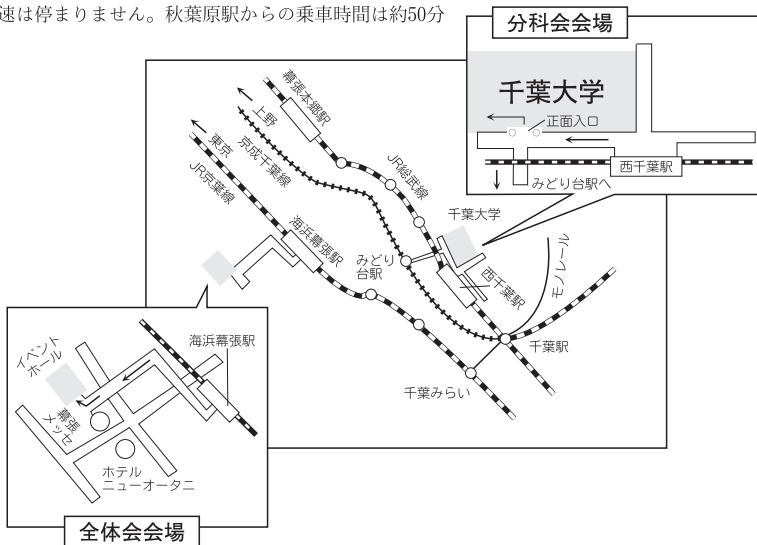
J R 総武線「幕張本郷駅」下車、「幕張メッセ行き」か「海浜幕張駅行き」バスで15分

\* 快速は停まりません。秋葉原駅からの乗車時間は約40分

### ●分科会会場●

J R 総武線「西千葉駅」下車、徒歩5分

\* 快速は停まりません。秋葉原駅からの乗車時間は約50分



10月31日(日)

9:30~16:00

# 分科会 ●千葉大学 西千葉キャンパス

希望する分科会をひとつ選んでご参加ください。

1日を通して学習・交流します。

	分科会	学習・交流のねらい
1 基礎講座 (講義)	①今日の子育てと学童保育の役割 ～学童保育の基本を学ぶ～	働きながら子育てをする家庭にとって不可欠な学童保育。今日親の仕事・職場や子育て環境の変化をふまえて、学童保育の役割と必要な条件、あり方を学ぶ。また、「放課後子どもプラン」の動向や、「全児童対策事業」と学童保育のそれぞれの役割と内容の違いも学ぶ。
	②保護者と指導員でつくる よりよい学童保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>• わが子が安心して生活できる学童保育をつくるために、保護者と指導員がどのようにかわりあいながら内容づくり、運営、条件整備に取り組むか。一人ひとりの保護者の責任と父母会・保護者会の役割を学ぶ。</li> <li>• 学童保育の新設・分割のすすめ方を学ぶ。</li> </ul>
	③指導員の仕事と役割 ～指導員の仕事の基本を学ぶ～	指導員の仕事とは何かを確かめ、仕事をしていくうえで必要な実務や打ち合わせなどを学ぶ。また、よりよい学童保育をつくっていくうえで指導員に求められる課題を学ぶ。
	④学童保育の役割と 大切にしたい生活内容	働く親をもつ子どもたちに保障したい学童保育の生活内容、親が安心して働けるために大切にしたいことについて学ぶ。
2	[一人ひとりの子どもの学童保育での生活を保障し、親が安心して働けるために大切にしたいことを、実践を交流しながら学びあう]	
子ども理解と学童保育の生活づくり (実践の交流)	①子どもをとらえる視点と 働きかけ・指導 (2教室)	一人ひとりの子どもをどうとらえるか、子どもへの働きかけ・指導の視点を学びあう。
	②安心できる関係づくりと 生活内容 (2教室)	学童保育が子どもたちにとって安心感のある生活の場になっていることが大切。一人ひとりの子どもと指導員の関係づくりを土台として、子ども同士の関係がつくられるような毎日の生活づくりの課題を学びあう。
	③学童保育の生活の流れと 見通し (2教室)	継続的で安定した毎日の生活をつくるために、子どもの実態をふまえたうえで、平日の放課後・土曜日・長期休業日など、それぞれの生活の流れや組み立て、年間の見通しをどうつくるかを学ぶ。
	④学童保育の生活とあそび (2教室)	学童保育の子どもの生活とあそびの実態を交流しながら、子どもにとってのあそびの意味や指導員のかかわりを学びあう。
	⑤子どもたちの生活を伝え、 親とともに育てる (2教室)	学童保育での子どもの姿や指導員のかかわりを保護者に伝えることの大切さを交流し、さまざまな保護者の生活や願いを受けとめながら、ともに子どもを育てることの大切さを学ぶ。
	⑥高学年を含めた学童保育の 生活づくり (2教室)	高学年の子どものおかれている状況や要求をとらえ、高学年を含めた学童保育の生活づくりで大切にしたいことを学びあう。

	運動を交流する分科会	学習・交流のねらい
3	①父母会・保護者会の役割と活動 (2教室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• なぜ父母会(保護者会)が必要なのか、父母会の持つ役割と大切さを学ぶ。</li> <li>• みんなが参加できる父母会、魅力ある父母会づくりを交流する。</li> </ul>
	②父母会と連絡協議会の 結成・活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学童保育や保護者の実態と課題を確かめ、市町村・都道府県レベルの学童保育連絡協議会がなぜ必要なかを明らかにする。</li> <li>• 父母会・連絡協議会の結成、そして、活性化のために何が大事なかを交流し、学びあう。</li> <li>• 保護者・指導員が「あって良かった連絡協議会」と感じられるような活動や工夫を交流する。</li> </ul>
4	共同運営の学童保育 —運営と改善の課題—	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保護者が実質的に運営を担っている学童保育(地域運営委員会方式を含む)の実態と課題を交流し、公的責任を明らかにしながら行政への働きかけや運営・運動の課題を学びあう。</li> <li>• 一人ひとりの保護者の力を引き出す運営の工夫や指導員の果たす役割を深める。</li> </ul>

	運動を交流する分科会	学習・交流のねらい
5	公立公営の学童保育 －実態と改善の課題－	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立公営の学童保育の実態と課題を明らかにする。</li> <li>保護者と指導員がともに協力しながら、保護者の願いに応え、公立公営の学童保育をどうつくっていくかを学びあう。保護者の参画、保護者と指導員の連携をどうすすめるか。入所基準・定員、開設時間、指導員の雇用（任期付き雇用、雇用止め）、指導員の働く条件、生活内容、父母会活動などのあり方を学び、深める。</li> </ul>
6	子どもの放課後のあり方と 学童保育の課題	「放課後子どもプラン」の考え方・内容・問題点、自治体の動向、学童保育と「放課後子ども教室」の関係のあり方を明らかにする。同時に、児童館やその他の地域の子どものための施設や事業の拡充も含めた、子どもが健やかに育つ地域や放課後のあり方を深め、学童保育の実践や運動の課題を学ぶ。
7	「全児童対策事業」と学童保育	余裕教室を活用した「すべての児童のためのあそび場提供事業」である「全児童対策事業」を、「学童保育に代わる事業」として推進している地域の実態と問題点を明らかにし、学童保育固有の役割を確かめると同時に、学童保育施策の拡充の課題を学びあう。
8	学校内の学童保育 －実態と改善の課題－	学校施設利用について、国や自治体、地域の動向を学び、実態を交流しながら、条件整備の課題と留意すべきことを確かめる。学童保育が学校内にあることの課題や利点などを整理しながら、子どもたちによりよい学童保育をつくるための学校との関わりを考えあう。
9	学童保育の施設改善の課題	国のガイドライン、各地の設置運営基準の策定の動向などをふまえて、施設・設備の実態と課題、改善運動を交流し、学童期の子どものたちの「生活の場」にふさわしい学童保育の施設・設備のあり方を学びあう。
10	学童保育の設置・運営基準づくり と運動の課題	国は、「子ども・子育てビジョン」により5年間で学童保育利用児童を30万人増やすこと、「放課後児童クラブガイドライン」にそって質の向上をめざしている。学童保育の量的・質的な拡充を図っていくために、ガイドラインをどう改善させながら活用するか。学童保育に必要な条件、私たちの願い・要求を確かめ、設置・運営基準づくりの運動や施策の改善運動を交流する。
11	学童保育の「適正規模」と 分割・複数設置の課題	学童保育の大規模化が解消されないなかで、学童保育での子どもたちの生活の実態や指導員の悩みを交流し、大規模化の問題、適正規模（40人まで）の必要性を明らかにして、分割・複数設置の運動の課題を学ぶ。「分けすぎ」分割のあり方、複数設置の場合の運営や保育のあり方についても深める。
12	自保の学童保育の施策をどう考えるか ①自治体施策 －分析の視点と改善運動の課題－ ②学童保育施策をめぐる動きと 改善運動 ③指定管理者制度は 学童保育になじまない	自治体の施策と改善運動についてのレポートをもとに、公的責任とは何かを明らかにしながら、施策分析の視点、施策の改善運動の課題を学びあう。（自治体の学童保育施策、要綱等の資料を60部用意して参加してください）
		自治体で起きている、市町村合併や指定管理者制度導入、人件費を中心とする財政抑制策、自治体の仕事を民間に任せる動きなどの問題点を明らかにし、学童保育施策を後退させずに改善させていくための情報や運動を交流する。
		「公の施設」を管理するための制度が、子どもたちが継続的に生活しながら育つ場である学童保育にも導入されていることの問題点を、実際に導入されている地域の実態から明らかにする。導入させないための運動、導入を撤回させるための運動の課題を学ぶ。
13	指導員にかかわる課題 ①専任・常勤・複数体制の確立、 労働条件の確立 ②指導員の仕事の確立と研修活動 ③指導員の職場づくりと地域の指導員会づくり	指導員の仕事を確かめながら、専任・常勤・複数体制がなぜ必要なのかを学ぶ。各地の「午後から勤務」「非常勤」「非専任」体制の実態と問題点を明らかにし、労働条件の改善も含めた運動を交流する。
		指導員の仕事の内容や特徴を明らかにしながら、日常的・継続的な研修と経験の蓄積がなぜ大切なのかを確かめる。指導員の研修内容を交流し、仕事に必要な研修内容を確認する。「実践を振り返る」ことの大切さと方法について学び合う。また、指導員に求められる資格や専門性について深める。
		学童保育での子どもたちの生活に責任を負う指導員が、毎日の仕事をしていくうえで求められる「職場づくり」の実態を交流し、課題を確かめあう。また、地域（都道府県、地区、市町村レベル）で指導員同士が学びあい、支えあうための指導員会づくりの必要性やあり方について学びあう。
	講義と交流の分科会	学習・交流のねらい
14	①障害児の受け入れと障害児理解 講師・品川文雄（全国障害者問題研究会）	L D・A D H Dなども含め、障害児の障害と発達・生活・権利への理解を深め、学童保育に受け入れるにあたっての視点や条件整備の課題を学ぶ。



	講義と交流の分科会	学習・交流のねらい
14 障害児と学童保育	②障害児を含めた生活づくり（2教室） —実践の交流と確かめ— A助言者・小淵隆司 （千葉県鎌ヶ谷市子育て総合相談室） B助言者・清水 均 （埼玉県東部障害者就業・生活支援センター）	障害児が入所している学童保育での、健常児を含めた生活づくりの実践を交流し、指導員の働きかけ・かかわりで大切にしたいことを学びあう。
	③障害児を対象とした学童保育づくり 講師・村岡真治（障害のある子どもの放課後保障全国連絡会）	地域で障害児が生活し、成長していくことをどう保障するのか。障害児を対象とした学童保育や放課後ケア施設をつくり、充実させていくための課題を学び、実践と運動を交流する。
15	高学年の子どもの生活 講師・山崎隆夫（東京・元小学校教諭）	高学年の子どもの心と身体の特徴・生活・要求を確かめ、高学年の子どもたちに保障したい放課後や家庭の生活を学ぶ。
16	子どもの権利を学ぶ 講師・増山 均（早稲田大学）	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの権利とは何か、「子どもの権利条約」を今日の日本の実情とかかわらせながら学ぶ。</li> <li>家庭・学童保育での、子どもの権利をふまえた子どもとのとらえ方や子育ての課題を学ぶ。</li> <li>「放課後子どもプラン」や「放課後子ども教室」事業を、子どもの権利条約の視点から問い直す。</li> </ul>
17	今日の子どもの問題を考える 講師・村山士郎（大東文化大学）	衝撃的な少年犯罪の発生、いじめ、不登校、引きこもり、学級崩壊などに見られる今日の子どもをめぐる状況を明らかにし、子どもとのとらえ方を深め、子育てや教育の課題を学ぶ。
18	学童保育と学校 —保護者と指導員と教師のかかわり— 講師・土佐いく子（大阪・元小学校教諭）	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の学校・教師・子どもをめぐる問題・動向を学ぶ。</li> <li>子育ての願いや子どもの生活を保護者・指導員・教師が伝えあう大切さと、それぞれの実践の課題を学ぶ。</li> </ul>
19	学校での学びと教師・保護者の役割 講師・渡辺恵津子（埼玉・小学校教諭）	学校は子どもたちが共同で学んでいく場。学級づくりや授業づくりの中で豊かに学びが広がる。子どもたちの学ぶ意欲を育て、学ぶ楽しさのある学級や学校をどうつくるか。教師と保護者の役割と連携の課題を学ぶ。
20	子どもの発達と学力 講師・片岡洋子（千葉大学）	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力とは何か。子どもの成長・発達と学力のかかわり、学力の土台になるものを学ぶ。</li> <li>子どもの発達を保障するために家庭・学童保育・学校で大切にしたいことを学ぶ。</li> </ul>
21	子どもの遊び・学び・仕事 講師・須藤敏昭（大東文化大学）	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの成長・発達と遊び・学び・仕事のかかわりを学ぶ。</li> <li>働くことや働く人への理解や家事労働の大切さを学ぶ。</li> </ul>
22	子どもの生活と地域・文化 講師・鈴木隆司（千葉大学）	今日の若者・子どもの生活と地域・文化をめぐる状況を明らかにしながら、若者・子どもの育ちと生活・地域・文化をどう理解したらよいかを学ぶ。そのうえで、保障したい文化的環境や生活とは何かを学ぶ。
23	子どものからだと生活 講師・藤田和也（元・一橋大学）	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の子どものからだのおかしさや特徴を明らかにする。</li> <li>成長期にある子どもの健康な身体づくりについて大切にしたいことを学ぶ。</li> <li>食生活、生活のリズムなど、家庭や日常の生活のあり方をとらえなおす視点を学ぶ。</li> </ul>
24	働きながらの子育てと家族・家庭 講師・池添 素（らく相談室長）	親の仕事・職場の実態が家庭・子育てにどのように影響しているかを明らかにしながら、家族・家庭の役割、母親も父親も人間らしく働き、いっしょに子育てするために求められる課題を学ぶ。
25	女性・男性の仕事・職場、働き方を考える 講師・杉井静子（弁護士）	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性の仕事・職場、働く条件の実態を明らかにする。</li> <li>女性が社会参加や子育てしながら働きつづけるために、保育の公的保障などの条件整備の課題を学ぶ。</li> <li>男性も女性も人間らしく働ける労働条件や、働く環境の整備の課題を学ぶ。</li> </ul>
26	地域に根ざす学童保育 講師・山崎丈夫（愛知学泉大学）	<ul style="list-style-type: none"> <li>学童保育が地域に根ざすとはどういうことかを学ぶ。</li> <li>町内会・自治会など地域の団体と学童保育のかかわり、働く者と地域のかかわりについて学ぶ。</li> <li>安全・安心な街づくりの課題についても学ぶ。</li> </ul>
27	自治体政策と地方自治の課題 講師・二宮厚美（神戸大学）	<ul style="list-style-type: none"> <li>政府の「地域主権戦略」、自治体リストラやアウトソーシング（外部化）、今日の地方自治と自治体をめぐる政策動向、地方自治と住民運動の課題を学ぶ。</li> <li>地方自治とは何か、自治体と国の役割と責務について学ぶ。</li> </ul>
28	社会保障・児童福祉施策の動向と課題 講師・浅井春夫（立教大学）	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の日本の貧困問題、セーフティネットとしての社会保障の現状と行方、あり方を学ぶ。</li> <li>政府がめざしている「新たな保育の仕組み」の問題点、これまでの公的保育制度の仕組みや守るべき制度のあり方を学ぶ。</li> <li>権利としての福祉、働きながらの子育ての保障を確立する運動の課題を学ぶ。</li> </ul>

## 宿泊の申し込み 申し込み期限…10月8日（金）

宿泊を希望される方は、参加申し込みとは別に、宿泊申し込み書に必要事項をご記入のうえ、下記旅行会社にFAXまたは郵送にて直接お申し込みください。

①**宿泊施設と料金**（10月30日の1泊朝食付 税込） ……最少催行人員1名より、添乗員なし

宿泊施設は、JR京葉線・総武線（海浜幕張～蘇我間、千葉駅周辺）にて確保しております。幕張地区・千葉駅周辺の宿泊施設は大変混みあっており、ご自身の宿泊手配は難しいと思われるので、当該方法にてお申し込みをお願いします。

ランク	幕張地区ホテル	千葉駅方面地区ホテル	部屋タイプ	料金
S	アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張（海浜幕張） ホテルニューオータニ幕張（海浜幕張）*ツインのみ		シングル	11,500円
			ツイン	11,000円
A	ホテルグリーンタワー幕張（海浜幕張） ホテルスプリングス幕張（海浜幕張）		シングル	11,000円
			ツイン	9,500円
B	メイプルイン幕張（幕張本郷）	三井ガーデンホテル千葉（千葉） 京成ホテルミラマーレ（千葉）	シングル	9,000円
			ツイン	8,500円
C		千葉ワシントンホテル（千葉） ホテルソグインターナショナル（蘇我） ドリーミーイン蘇我（蘇我）	シングル	7,500円
			ツイン	6,500円
D		バーディーホテル千葉（千葉） ホテルニューツカモト（千葉みなど）	シングル	6,500円
			ツイン	5,500円

### ②申し込み方法

宿泊申し込み書に部屋タイプを第三希望までご記入のうえ、下記旅行会社へFAXまたは郵送でお申し込みください。尚、申し込み書の着信を必ずご確認ください。FAXの場合は、当日または翌日。郵送の場合には、投函後3～4日後。

### ③申し込み期限

10月8日（金）申し込みは先着順に受付させていただきます。満室になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

### ④送金方法

お申し込み締め切り後、旅行会社より予約確認書及び請求書を送付させていただきますので、10月18日（月）までに指定口座へお振り込みください。

尚、振り込み手数料はお申し込み者のご負担となります。

### ⑤取り消し料

21日前まで	20日～8日前まで	7日～2日前まで	前日	当日	無連絡
無料	20%	30%	40%	50%	100%

\*取消日の基準は、FAXの送信月日を基準とします。下記旅行会社の営業日・営業時間内とさせていただきます。

\*取消後の返金は、研究会終了後に振込み手数料を相殺のうえ、お申し込み者の指定口座へ振り込み送金します。

⑥**子ども（小学生・幼児）の料金**……大人と同額です。ただし、ベッド・朝食が不要な幼児は無料です。申し込み書に幼児の方の年齢とその旨をご記入ください。（無料扱いの幼児の基準年齢は、満3歳以下です）

《宿泊申し込み先》……ご不明の点のご連絡なく下記旅行業務取扱管理者にお尋ねください。

<p><b>トップツアー(株)市川支店</b> 観光庁長官登録第38号 (社) 日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員</p> <p>〒272-0021 千葉県市川市八幡2-6-12 スズキビル2階</p> <p>電話 047-333-5641 FAX 047-333-0185 総合旅行業務取扱管理者：中村紀生</p> <p>営業時間：月～金 9:20～17:20 土 9:20～12:00</p> <p>日祝日休業 担当：川野辺真博、中村紀生</p> <p style="text-align: right;">承認 4072</p>
--

### ご旅行条件の要約

①**募集型企画旅行契約**……この旅行はトップツアー(株)（以下当社）が企画・募集し実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社との募集型企画旅行契約を締結することになります。また、契約の内容・条件とは各プランに記載されている条件のほか、下記条件、出発前にお渡しする確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので事前にご確認のうえお申し込みください。

②**旅行のお申し込み及び成立**……お申し込み書に所定の事項を記入し、指定の期日までに旅行代金全額をお支払いください。旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、旅行代金を受領した時に成立したものとします。

③**個人情報の取扱いについて**……お申し込みの際にご記入いただいた個人情報については、当該旅行における手配に必要な範囲内において利用させていただきます。その他、個人情報の取扱いについては旅行条件説明書に明記しております。

# 第45回全国学童保育研究集会のご案内

- **日程と会場** 2010年10月30日(土) 13:00~16:30 全体会  
幕張メッセ イベントホール (千葉市)  
10月31日(日) 9:30~16:00 分科会  
千葉大学 西千葉キャンパス (千葉市)
- **参加費** 3500円(資料代含む) \* 1日のみの参加も両日参加も参加費は同額です。  
\* 10月26日(火)以降にキャンセルした場合は返金できません。
- **弁当代** 800円 (31日のみ。会場周辺には飲食店などの店舗がありませんので、お弁当が必要な方は必ず10月22日までに申し込んでください)
- **参加申し込み方法**
  - \* 参加申し込みは、現金書留ではなく郵便振替を利用してください。参加費(必要な方はお弁当代も)を下記の口座に振り込んでいただいたうえで、郵便振替の受領証のコピーと必要事項を記入した「参加申し込み書」をあわせて、ファックスか郵便、Eメールでお送りください。ファックスの場合は、文字が見えにくくなりますので、拡大して、お送りください。
  - \* 個人でお申し込みの方は、下記のQRコードを使ってのお申し込みもできます。画面の指示に従い、必要事項を入力の上、お送りください。
  - \* 団体でまとめて振り込む場合は、振り込み用紙の通信欄に団体名と人数、代表者の連絡先を書いてください。
  - \* 市町村に学童保育連絡協議会等がある地域は、できるだけ連絡協議会でまとめて申し込んでください。

## 参加申込み先

### 千葉県学童保育連絡協議会

〒273-0005 千葉県船橋市本町3-4-3 千葉保育センター内

TEL 047-422-4181 FAX 047-422-4184

E-mail chibagakudo@nifty.com

郵便振替口座：00140-4-82963 口座名義 千葉県学童保育連絡協議会

※他の金融機関から振込む場合は、銀行名：ゆうちょ銀行

店名：〇一九(ゼロイチキュー) 預金種目：当座預金 口座番号：0082963



\* 当日受付もありますが、たいへん混雑しますので、宿泊希望がない場合でも事前に参加の申し込みをお願いします(事前申し込みは、集計の都合上、10月22日までにお願いいたします)。

- **宿泊の申し込み** \* 参加の申し込みとは別に、別記の要領にそって旅行代理店トップツアー(株)に申し込んでください。
- **保育** \* 3歳以上は用意しますが、十分ではありませんので、できるだけ地域で対応してください。保険料・おやつ代は会場いただきます。  
\* 必ず事前に申し込んでください(年齢・利用日、その他、必要事項(アレルギー等)があれば申し込み書にご記入ください)。
- **問い合わせ**
  - ◇ 参加申し込みについては、千葉県学童保育連絡協議会へ。047-422-4181
  - ◇ 宿泊については、トップツアー株式会社・市川支店へ。047-333-5641
  - ◇ 研究集会の内容については、全国学童保育連絡協議会へ。03-3813-0477

## 全国学童保育連絡協議会

〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-13

TEL 03-3813-0477 FAX 03-3813-0765

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~Gakudou>

(リーフレットはホームページからもダウンロードできます)

ご記入いただいた個人情報は、この研究集会に関する問い合わせのほか、各種受講案内や刊行物案内をお届けするために利用させていただきます。全国学童保育連絡協議会の個人情報保護方針に基づき、ご本人の許可なく第三者への提供は行いません。

## 〈おねがい〉

- レポート資料** \* 分科会に参加者が自主的にレポートや資料を用意されることは大歓迎です。ただし、印刷は当日、会場ではできませんので、必ずご自身で事前に印刷して持ち込んでください(印刷枚数は10月28日までに全国学童保育連絡協議会まで問い合わせください)。  
\* 分科会会場では、まず世話人にレポート・資料の持ち込みの旨を伝え、世話人を通して参加者に配布してもらってください。なお、1日目(土曜日)に世話人に渡したいので、できましたら1日目に全体会本部に2部お持ちください。
- 販売** \* 販売は、実践や運動の記録、子どもの作品(文章など)に限ります。販売希望の方は、それぞれの都道府県連絡協議会または全国学童保育連絡協議会事務局に、10月12日(火)までに申し込んでください。  
\* 販売は、用意してある販売場所に限ってお願いいたします。販売物は、全国学童保育連絡協議会に1部寄贈をお願いいたします。
- チラシ配布** \* 会場内では自粛してください。多くの参加者が会場内で署名・カンパ活動・チラシ配布などを行いますと、会場が混乱しますのでご協力ください。
- 駐車場** \* 全体会会場は有料の幕張メッセ駐車場等をご利用ください。分科会会場(千葉大学)には、駐車場はありません。